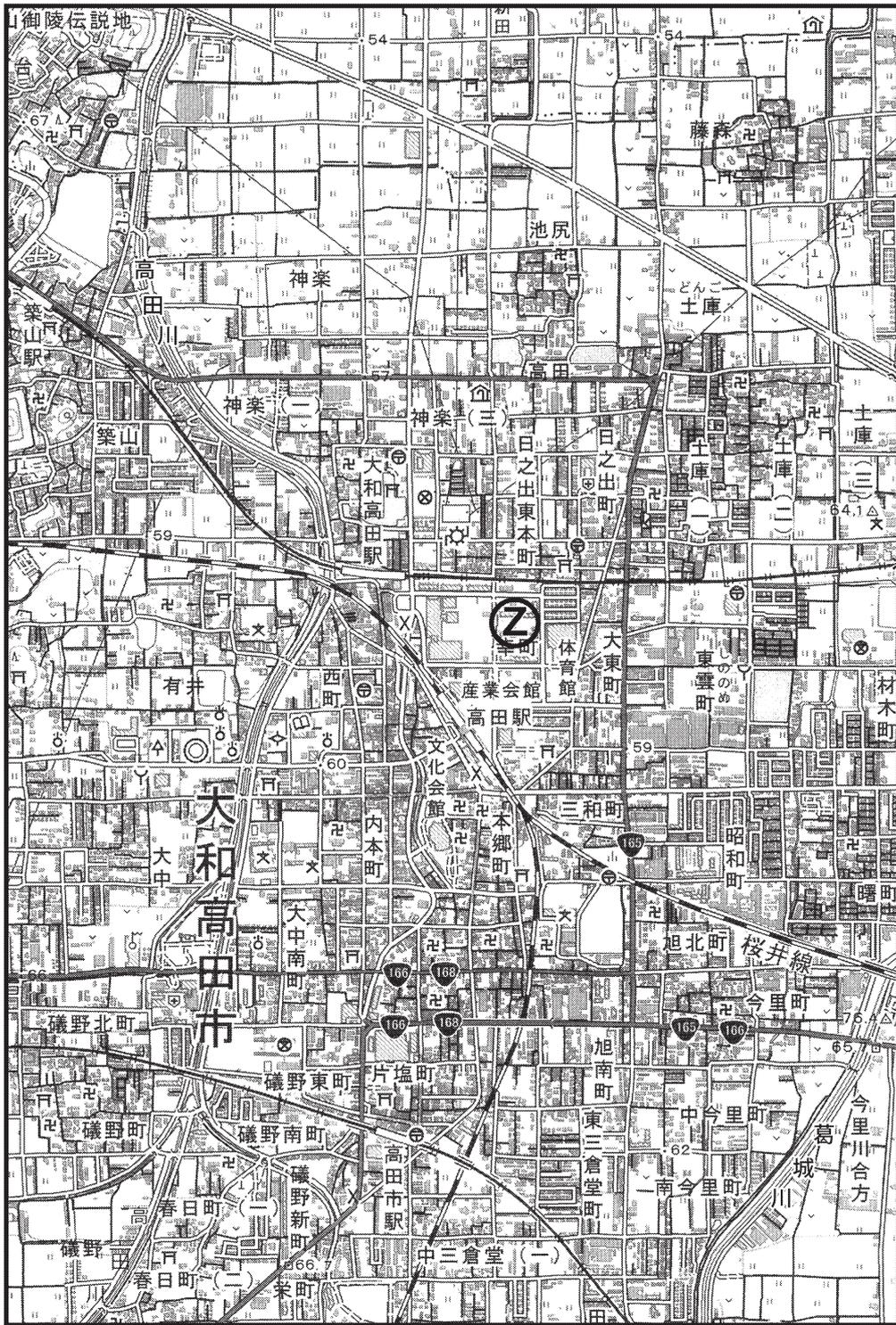


地 理 探 究

第1問 次の地図と文章（A～G）に関する下の問い（問1～7）に答えよ。



地 図

国土地理院 1：25000地形図「大和高田」拡大

- A 市役所南側の道路を東へ進んで（ア）に架かる橋をわたり、最初の北へ向かう道路を歩いて行くと、左に（イ）がある。さらに少し北へ行くと右に（ウ）がある。地図によると、このあたりの町名は（エ）である。（ウ）の北側の道路を東に進むとやがて郵便局付近にたどりつく。
- B （オ）駅東側の道路を北に進むと、警察署が右に、左に神社がある。さらに北へ行くとすぐに郵便局がある。
- C 東雲町にある消防署北側の道路を西へ行き、大東町と記された右（東側）の道路を南へ進み三和町に至るまでの途中に、地図上では標高点（カ）mの数字がある。この標高点の場所から西へと進み、途中から南西方向への道路を進むと鉄道を渡ることになる。現地では踏切があった。さらに西へ行き最初の交差点を北西へ少し進むと交番があり、さらにその先へ行くと（キ）駅前にたどりつく。
- D （ク）駅西側の南北方向の道路を南へ行くと交番があり、そこから南西方向に進んで行くと、地図上の標高66.7mの（ケ）にたどりつく。
- E 材木町にある学校は地図記号から判断すると（コ）学校である。この学校の南側にある道路を西に進むと、消防署にたどりつく。この消防署から（サ）へ行くと郵便局があり、その北側に東西に鉄道が通る。鉄道沿いに（シ）の記号が多くみられ農業的土地利用の特徴がわかる。
- F 地図上では、土庫（三）の学校付近に標高64.1mの（ス）をみつけることができる。この学校の南側の道路を西に行くと、変電所（地図記号では発電所等）付近にたどりついた。この学校と変電所との距離は1.1kmであった。2万5千分の1の地図では、この距離は（セ）mmの長さとなる。

G 地図の中央部㉔一带には、かつて広大な敷地をもつ工場があった。調べてみると、それは紡績工場であった。この地域の農村では、かつて（ソ）が栽培されていたことと関係が深いようである。

問1 地図をみて、上の文中（ア）～（コ）、（ス）、（ソ）に入る適語を語群から選んで答えよ。

【語群】

高田川 葛城川 税務署 裁判所 寺院 神社 図書館
老人ホーム 病院 大東町 西町 本郷町 三和町 有井
大和高田 高田 高田市 築山 三角点 水準点 電子基準点
小・中 高等 絹 綿花 ぶどう 59 60 62

問2 上の文中（サ）に入る方位を四方位で答えよ。

問3 上の文中（シ）に入る土地利用の適語を語群から選んで記号で答えよ。

【語群】

a 果樹園 b 畑 c 田 d 竹林 e 茶畑

問4 上の文中（セ）に入る数字を答えよ。

問5 藤森、池尻の各集落の周囲には水路がめぐらされていたと考えられ、部分的に現存もみられる。これらの集落の特徴をあらわした適語を語群から2つ選んで記号で答えよ。

【語群】

a 新田集落 b 環濠集落 c 納屋集落 d 輪中集落
e 塊村 f 列村 g 路村 h 街村 i 環村

問6 地図の北部にみられる農地には、直交する道路により整然とした土地区画がみられる。かつての制度によって形作られたこのような区画を何というか。適語を語群から選んで記号で答えよ。

【語群】

a 丁目 b 条目 c 条里 d 条坊

問7 地図をみて、大和高田市中心市街地とその周辺地域が一目でわかる地図（簡略した地図）を解答欄に描きなさい。なお、以下の条件を必ず入れて描くこと。

[条件] 鉄道と駅（駅名を含む） 主要な道路 河川
 主要な地名 主な建物・施設（地図記号を使う）

〔解答欄〕 横9.1cm × 縦12.1cm

第2問 次のA～Gの文章は各国の農業について述べたものである。A～Gの文章を読み、下の問い（問1～3）に答えよ。

A 北の（ア）島、南の（イ）島の二大島をはじめとする大小7,000以上の島々からなる島国である。国土の4分の3が山地で傾斜地には棚田が広がる。1960年代以降、米は高収量品種が導入され、土地生産性が向上した。

（ウ）による高収量品種の導入や栽培技術の向上が進められた。しかし、品種の高収性を引き出すには、灌漑施設の整備や化学肥料・農薬の投与といった、高コスト型の管理が必要であったため、多数の小農はこれを限定的に導入するにとどまった。栽培に多額の費用が必要なため、農家間の格差が拡大するという問題が生じた。

B 北部と中・南部で農業の特色に大きな違いがみられる。北部の（エ）川流域平野では灌漑水路網が発達して、小麦・トウモロコシ・（オ）・牧草の栽培と家畜飼育を組み合わせた商業的混合農業が行われている。（オ）のヨーロッパ最大の生産国である。一方、中・南部では、羊・山羊の飼育と小麦の栽培や樹木作物のブドウ・オリーブなどが栽培される地中海式農業が一般的である。

C 北海に面しユーラン（ユトランド）半島および周辺の島々からなるこの国は、国土の大部分が氷食をうけたやせた荒地であったが、農業技術の進歩や農業教育と（カ）の活動などによって、この条件を克服し世界有数の酪農国となった。この国は世界最大の（キ）島をもつ。（キ）を除く国土の約6割が農用地であるが、国土面積に占める牧場・牧草地の割合は1割未満である。

D 国土のほとんどが50° N以南に位置し氷食をうけない肥沃な平野が多いこの国は、EU最大の農業国である。(ク)盆地北部では企業的大規模経営による小麦生産が行われ、(ク)盆地東部の(ケ)地方や南部の地中海沿岸は(コ)栽培と(コ)を原料に醸造される(サ)産地としていられている。主要食料のほとんどを国内で自給自足でき、穀物・(サ)・牛乳などをEU諸国に輸出している。

E 2016年に夏季オリンピックが開催されたこの国は、大土地所有制と奴隷制、奴隷解放後は契約移民制による(シ)、ついで綿花、コーヒーなどの単一耕作として農業が発達してきた。なかでもコーヒーは、19世紀に欧米諸国での消費の増大に伴い栽培が拡大し、世界最大の生産量・輸出量を誇ってきた。しかし、モノカルチャーからの脱却を目標に、1950年代から農業の多角化を進めてきた。コーヒーや(シ)などの伝統的な農産物は輸出額の比重が低下し、かわりに大豆や鶏肉などの比重が急増している。

F この国では農業の集団化が進められ、1950年代から農業の生産活動だけではなく、教育・行政などを一体で担った(ス)が創設された。しかし、労働にかかわらず収入が同一であったため、農民の労働意欲が低下し、農業生産が停滞した。農民の生産意欲を引き出すために、収穫から政府への供給分を除けば、残りを農家の取り分として自由に販売できる(セ)が導入され、1980年代に(ス)は解体された。この国の東部では、農業地域の区分は年降水量1,000mmの等降水量線の境とほぼ一致し、それを境にして北部では畑作、南部では稲作が中心となる。(ソ)平原では小麦栽培が盛んで、ここでは小麦粉を使った^{マントウ}饅頭や麺類、(タ)がよく食べられている。

G 綿花や茶、ジュートなどの商品作物の栽培が行われている。綿花は肥沃な土壌のレグールが分布する（チ）高原西部を中心に栽培されている。茶は降水量の多いダージリン地方やアッサム地方の丘陵地で栽培が盛んである。また、穀物生産は降水量の多い東部・沿岸部では稲作、北西部では小麦栽培が中心となっていて、とくに（ツ）地方は世界的な小麦産地としてしられる。内陸部の（チ）高原では雑穀（もろこしなど）が栽培されている。主食もこの地域の特徴を反映したものになっている。

問1 文章中の空欄（ア）～（ツ）に入る適切な語句を、次の語群から選んで答えよ。

【文章Aの語群】

ジャワ ミンダナオ カリマンタン ルソン 緑の革命
白い革命

【文章Bの語群】

ポー テヴェレ 米 大麦

【文章Cの語群】

農業協同組合 郷鎮企業 グリーンランド アイスランド

【文章Dの語群】

パリ ロアール ブルターニュ シャンパーニュ 大麦 ブドウ
ビール ワイン

【文章Eの語群】

油ヤシ ココヤシ サトウキビ オレンジ

【文章Fの語群】

人民公社 生産責任制 経済特区 華北 長江中下流 ビーフン
餃子

【文章Gの語群】

ユンコイ デカン パンジャブ 東北

問2 A～Gの文章で説明される国名を答えよ。

問3 A～GにはBRICSの国々が含まれる。BRICSについて説明せよ。